

【令和3年度から令和6年度における各部会の取組】

資料 1-6

- ・現在重点的に取り組んでいるもの…◎
- ・取組を継続しているもの …○
- ・取組が終了したもの …—

子ども部会

就学前手続き等の明瞭化に向けた検討(R3-6) (保護者及び支援者向けの障害児の就学の流れに関するフローチャートの作成)	—
障害児に計画相談をつなげる仕組みの検討(R2-R5) (計画相談につながるためのフローチャートの作成)	—
市外から市内に戻る強度行動障害児の受入先不足に関する取組の検討(R3-R4) (施設移行までの流れに関するフローチャートの作成)	—
多職種連携の促進に向けた検討(R5-)(支援者向けの子どもに関する関係機関一覧の作成)	◎
当部会作成ツールの利活用に向けた検討及び普及啓発活動	○

現在 取り組んでいる 重点課題 (◎をつけた もの)	重点課題 (1つ) (「○○に向けた～の取組」のように対象者が分かるよう記載してください)	取組ウェイト		
	多職種連携の促進に向けた検討 (支援者向けの子どもに関する関係機関一覧の作成)	60		
	課題解決 (進捗度 100%) とみなす終着点と得られる成果 (「○○がどのような状態になったか」わかるよう記載してください)	達成予定期日		
	支援機関が複数に点在しているという前提で、各児童へ最適な支援を行えるような状態を目指す。具体的には、『どの機関が、どのような支援を行っているかを一目瞭然にする』ための一覧表の作成を行う。多職種連携による支援を行えるよう、この一覧表を関係機関に周知する。 なお、本取組の終期は、一覧表の完成時点としたい。作成後の周知や管理については、他ツールとともに次点取組として、検討等を実施予定。	令和7年10月		
	現時点での進捗状況	進捗率		
	令和6年度第2回部会にて、一覧表の様式、記載内容を検討予定。	0%		
次点の取組	取組名	当部会作成ツールの利活用に向けた検討及び普及啓発活動	取組ウェイト	40

## 地域移行支援部会

高齢福祉分野との連携・関係づくり (高齢分野との合同勉強会の開催、ケアマネット協会の研修会への参加)	—
長期入院者向け地域資源見学ツアーの実施(予定)	—
住まいの体制づくり (宅建協会との連絡会開催、研修会の調整、家族会との交流会調整)	—
ピアサポート活動の体制づくり (意見交換会の開催、ピアサポーター交流会の参加)	◎
民生委員や自治会、家族会へのアプローチ方法についての検討	—
民児協との連携(勉強会の開催)	—
誰もが安心して地域で暮らすための体制整備について	—
身体・知的分野の地域移行に関する事業説明	—
身体・知的分野における地域移行に関する認識統一のための勉強会開催	○

現在 取り組んでいる 重点課題 (◎をつけたもの)	重点課題(1つ) (「○○に向けた～の取組」のように対象者が分かるよう記載してください)		取組ウェイト	
	ピアサポート活動の体制づくり		60	
	課題解決(進捗度 100%)とみなす終着点と得られる成果 (「○○がどのような状態になったか」わかるよう記載してください)		達成予定期日 ※2年以内として ください。	
	ピアサポーターの活躍の場が担保されている状態		令和8年3月	
	現時点での進捗状況		進捗率	
	1月23日にピア活動に関する勉強会を開催予定 勉強会の結果をふまえ、課題解決に向け更なる取組を実施する。		40%	
次点の取組	取組名	身体・知的分野における地域移行を選択肢として 提供できる体制づくり	取組ウェイト	40

# 相談支援部会

相談支援事業所リストの更新・配布	○(1)
災害時避難行動要支援者への支援に関する活動	-
高齢分野との連携の取組(つなごーかしずおか製作・周知)	-
専門員数の確保と質の向上に関する勉強会(2種)の開催	-
主任相談支援専門員との協働に向けた検討	○(2)
座談会の開催	○(3)
相談員の業務負担軽減と質の向上に向けた勉強会(2種)の開催	◎

現在 取り組んでいる 重点課題 (◎をつけたもの)	重点課題(1つ) (「○○に向けた～の取組」のように対象者が分かるよう記載してください)		取組ウェイト	
	相談員の業務の負担軽減と質の向上に向けた勉強会(2種)の開催		40	
	課題解決(進捗度 100%)とみなす終着点と得られる成果 (「○○がどのような状態になったか」わかるよう記載してください)		達成予定期日 ※2年以内としてください。	
	「業務効率化」及び「3層構造の理解」の2つをテーマとしたアンケートの実施、勉強会等を企画・開催する。 アンケート調査、勉強会の開催により業務負担の軽減、相談員の質向上の一助となる。		令和7年3月	
	現時点での進捗状況		進捗率	
	テーマごとに部会内でチームを編成し、アンケートや勉強会の実施方法について検討。現在アンケート調査実施中。		40%	
次点の取組 (1)	取組名	相談支援事業所リストの更新・配布	取組ウェイト	20
次点の取組 (2)	取組名	主任相談支援専門員との協働に向けた検討	取組ウェイト	20
次点の取組 (3)	取組名	座談会の開催	取組ウェイト	20

## 地域生活支援部会

地域生活支援ネットワーク会議の開催	—
災害時の障がいのある方への支援等に関する PT	—
日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価の実施	—
地域移行の促進に向けた緊急時及び強度行動障がいのある方等の受け入れ体制について	—
身体障がい者(肢体不自由)の移動支援対象要件の再確認	—
強度行動障がい者支援のPT	◎

現在 取り組んでいる 重点課題 (◎をつけたもの)	重点課題 (1つ) (「〇〇に向けた～の取組」のように対象者が分かるよう記載してください)	取組ウエイト
	強度行動障がい者支援のために <u>人材育成と支援ニーズ把握</u> に焦点をあてた支援体制の整備に向けた取組み	100
	課題解決 (進捗度 100%) とみなす終着点と得られる成果 (「〇〇がどのような状態になったか」わかるよう記載してください)	達成予定期日 ※ 2 年以内として ください。
	強度行動障がいに関する研修情報の整理、事業所の支援ニーズの把握、強度行動障がいサポート事業の整理等により、静岡市の強度行動障がいに関する人材育成ビジョンができた状態。	令和 8 年 7 月
	現時点での進捗状況	進捗率
	令和 6 年 7 月の自立支援協議会で承認を得てプロジェクトが発足。強度行動障害に関する研修リストの整理や事業所へのニーズ聞き取り方法の検討を進めている。	5 %

## 権利擁護・虐待防止部会

障害者虐待に関する情報共有と意見交換	○
静岡市障害者虐待防止センター勉強会(虐待防止マニュアル及び対応について)	○
入所施設連絡会向け障害者虐待防止研修会	—
グループホーム連絡会向け勉強会の開催	◎

現在 取り組んでいる 重点課題 (◎をつけたもの)	重点課題（1つ） (「〇〇に向けた～の取組」のように対象者が分かるよう記載してください)		取組ウエイト	
	緊急時及び強度障がいのある方等に向けた受け入れ体制構築のための取組		40	
	課題解決（進捗度 100%）とみなす終着点と得られる成果 (「〇〇がどのような状態になったか」わかるよう記載してください)		達成予定期日 ※ 2年以内としてください。	
	短期入所サービスを提供している施設の支援者向け研修会の開催により、虐待にまつわる課題を認識し合い、権利擁護（意思決定支援）や虐待防止に対する認識を深め啓発し合えることで、緊急時の受け入れ体制整備の一環とする。		令和7年3月	
	現時点での進捗状況		進捗率	
	昨年度、入所施設の支援者向け研修会を開催し、権利擁護や虐待防止に係る取り組みを行った。今年度、グループホームの支援者を対象とした研修会の開催を予定しており、現在、内容の検討、講師の依頼など調整している。		50%	
次点の取組	取組名	虐待防止センターと行政との、虐待対応における連携強化に向けた取り組み	取組ウエイト	30
次点の取組	取組名	権利擁護・虐待防止に係る普及啓発	取組ウエイト	30

# 就労支援部会

データから見る静岡市の就労に関する現状分析	—
静岡市障害福祉サービス事業所数に関する現状と課題について	—
就労継続支援 A 型・B 型事業所向け経営マネジメント研修の開催	—
地域資源見学ツアーの開催	— ※
就フェスの開催	—
障害者就職相談会へのブース出展	— ※
市内大学に対する就労移行支援の理解促進	—
就労移行支援事業所説明資料の作成	— ※
就労移行支援事業所の情報発信（※を集約）	◎

現在 取り組んでいる 重点課題 （◎をつけたもの）	重点課題（1つ） （「〇〇に向けた～の取組」のように対象者が分かるよう記載してください）	取組ウェイト
	学生や求職者の就労移行支援事業所の認知拡大	100
	課題解決（進捗度 100%）とみなす終着点と得られる成果 （「〇〇がどのような状態になったか」わかるよう記載してください）	達成予定期日 ※ 2 年以内として ください。
	就労移行事業所に関する情報発信により、学生や求職者の認知拡大を図る。 <学生向け> ・就労移行事業所見学ツアー、説明会（各 1 回/年の開催） <求職者向け> ・障害者就職相談会へのブース出展（2 回/年の出展） ・就労移行支援事業所説明資料の周知（自立支援協議会 WEB ページへの公開）	令和 9 年 3 月
	現時点での進捗状況	進捗率
学生や求職者の就労移行支援事業所の認知拡大のうち、 ・市内大学に対する就労移行支援の理解促進（市内 6 大学の説明完了） ・就労移行支援事業所説明資料の作成完了	62%	

◆就労選択支援（令和 7 年 10 月施行）については、関係者間で現時点の情報を共有しており、今後何の取組が必要かということも含めて検討を行っていくことを予定しています。